

今月のテーマ

新しいDIC 診断基準について ”

最近、国際血栓止血学会 (International Society on Thrombosis Haemostasis : ISTH) より、DIC の診断基準が提唱されました。今回は、この新しい DIC 診断基準について述べてみたいと思います。

我が国では、1988 年厚生省より発表された DIC 診断基準が広く普及していますが、診断までの項目数の多さやその特異度等から多くの問題点が指摘されています。今回発表された DIC 診断基準で特徴的なことは、1) 顕性の DIC (overt DIC) と不顕性の DIC (non overt DIC) に分類し、それぞれに診断基準を設けている。2) DIC

表1. DICの基礎疾患

- 敗血症・重症感染症
- 外傷 (多発外傷・神経外傷・脂肪塞栓症)
- 臓器不全 (重症肺炎)
- 悪性腫瘍
 - 固形腫瘍
 - 骨髄増殖性・リンパ球増殖性悪性腫瘍
- 産婦人科疾患
 - 羊水塞栓 (羊膜閉塞)
 - 胎盤早期剥離
- 血管の異常
 - Kasabach-Merritt Syndrome
 - 大動脈瘤
- 重症肝不全
- 重症中毒症または免疫性疾患
 - 蛇咬合
 - 薬剤乱用
 - 輸血による副作用
 - 移植による拒否反応

の基礎疾患 (表 1) を明確にした。3) どの検査室でも測定できる凝血学的検査を用いている。ということです。

表 2 には、顕性の DIC の診断までのプロセスを示します。最初に表 1 に示す疾患を有していれば、1) 血小板数、2) PT、3) fibrinogen、4) FDP または可溶性フィブリンモノマーの

blood news

測定を行いスコアリングします。トータルスコアが5点以上ならば「顕性のDIC」、5点未満ならば1~2日後に再度スコアリングを行ないます。

不顕性のDICのスコアリングシステムを表3に示します。特徴的なことは、1)血小板数、PT、FDPまたは可溶性フィブリンモノマーの経時的な変化に点数が与えられている、2)DIC早期の凝血学的変化を捉える分子マーカーである、AT-III、Protein C、TATなどが点数に加えられていることです。

DICは予後不良の症候群であり、早期発見・治療が重要となってきます。今後、DICの早期発見のためにも、一般的な凝血学的検査ばかりではなく、AT-III、ProteinC、TATの測定も必要となってきます。また、血小板の経時的な変化やPT、FDPの変動には注意が必要です。

表 2. 顕性の DIC 診断基準

1	DIC に 関連する基礎疾患の有無	?	
	-yes : 次に進む		
	-no : このシステムは使えない		
2	下記の凝固検査を依頼する		
	-血小板数		
	-prothrombin time (PT)		
	-fibrinogen		
	-soluble fibrin monomers or FDP		
3	凝固検査結果からのスコアリング		
	-血小板数	> 10x10 ⁴ /μl ...	0点
		< 10x10 ⁴ /μl ...	1点
		< 5x10 ⁴ /μl ...	2点
	-soluble fibrin monomers or FDP	の増加	
		増加なし.....	0点
		中等度増加.....	2点
		強度の増加.....	3点
	-PT (正常対照と比較)	< 3sec ...	0点
		3 ~ 6sec ...	1点
		> 6sec ...	2点
	-fibrinogen	< 100mg/dl ...	0点
		> 100mg/dl ...	1点
Total score	5 ... 顕性の DIC (スコアリングを毎日行う)		
	< 5 ... 不顕性の DIC (non overt DIC)の可能性がある		
	(1 ~ 2日後、スクリーニングを繰り返す)		

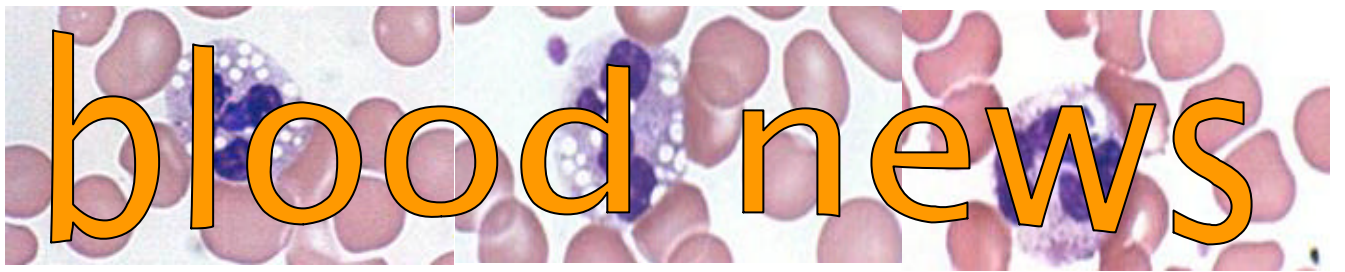


表3. 不顕性のDIC診断基準

1 DICに関連する基礎疾患の有無? ... yes: 2点
no: 0点

2 主な検査

	0点	1点
-血小板数 ($\times 10^4/\mu l$)	> 10	< 10
-PT (正常対照と比較)	< 3sec	> 3sec
-soluble fibrin or FDP	正常	増加

+

	-1点	0点	1点
増加傾向	増加傾向	一定傾向	減少傾向
短縮傾向	短縮傾向	一定傾向	延長傾向
減少傾向	減少傾向	一定傾向	増加傾向

3 特別な検査

	-1点	1点
• antithrombin III	正常	低値
• proteinC	正常	低値
• TAT	正常	高値

4 スコアー算定